

2004年4月23日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

グループ行動基準の制定について

住友金属鉱山株式会社（東京都港区、社長：福島孝一）は、このたび役員、社員の業務遂行における行動基準を明らかにした「SMMグループ行動基準」を制定いたしました。

当社では「2003年中期経営計画（2004～2006年度）」の策定にあたり、当社のめざすべき方向性を明らかにするため、従来の経営理念の見直しを行い、「信用を重んじる」「浮利を追わず」などに象徴される住友の事業精神を基本としたグループ経営理念（別添参照）を定めました。これにあわせて、従来の行動基準についても見直しを行い、この理念に基づいて企業活動を行ってゆくうえで役員、社員が守るべき事項を「SMMグループ行動基準」（別添参照）として定め、今後の業務遂行の道標とすることといたしました。

「SMMグループ行動基準」は、コンプライアンスを中心として、安全確保、リスクマネジメント、地球環境に対する配慮など17項目で構成されております。また、この行動基準に照らして疑問や問題があり、上司に相談しても対応がとられない場合や上司との相談が困難な場合に備えて内部通報制度を設け、電話、電子メール、手紙などで社内窓口へ直接情報提供を行うことができるようにしております。

当社は、役員、社員に対してこの行動基準について社内教育を実施し、周知徹底に努めてまいります。

（本件に関するお問い合わせ先）

総務部広報室 広報担当課長 高橋 雅史

TEL：03-3436-7701

以上

グループ経営理念

1. 住友の事業精神に基づき、健全な企業活動を行うことを通じて、社会への貢献とステークホルダーへの責任を果たし、より信頼される企業をめざす
2. 人間尊重を基本とし、その尊厳と価値を認め、明るく活力ある企業をめざす

「SMMグループ行動基準」

1. コンプライアンス 法やルールの遵守
 - ・国内外の法・ルール・社会常識を守ります
 - ・法や社会常識に反することは、それが会社の利益になるように見えても、これを行いません
2. 人の尊重
 - ・人格・人権を尊重し、差別的行為を行いません
3. 安全や健康の確保
 - ・顧客・社員など人の生命身体に対する安全や健康を最優先します
4. 人材の育成
 - ・自己啓発に努めるとともに、部下、後輩を教育し、後継者の育成に努めます
5. リスクマネジメント
 - ・事業や業務を行う場合には、リスクマネジメントの考え方を取り入れます
6. 積極進取の姿勢
 - ・時代の変化を先取りする技術やシステムを生み出していけるよう、積極進取の姿勢をもって仕事に取り組みます
7. チームワークの尊重、グッドコミュニケーション
 - ・組織間または社員間の協力によるチームワークを尊重します
 - ・報告、連絡、相談がタイムリーにでき、必要な情報が円滑に流れる、明朗・闊達な企業風土の醸成に努めます
8. 地域社会との関係
 - ・地域社会との共存共栄を図ります
9. 公私の区別
 - ・公私の区別を明確にし、良識に従った行動をします

10. 情報の収集・活用、取扱
 - ・情報を迅速、適法かつ適切に収集するとともに効果的に活用します
 - ・業務上知り得た情報は、業務目的のみに使用し、第三者に漏洩しません
11. 知的所有権の取扱
 - ・知的所有権は、技術志向の当社グループを支える重要な財産であることを認識し、その創造に努めます
 - ・知的所有権は適切に保護し、また有効活用に努めます。同時に他人の知的所有権も尊重します
12. 品質保証
 - ・品質システムに基づき、求められる役割を果たします
 - ・顧客に満足いただける商品やサービスを安全性に十分配慮して提供します
13. 営業・購買活動における姿勢
 - ・営業・購買活動は自由、公正な取引により適正な条件で行います
14. 接待・贈答に対する姿勢
 - ・接待・贈答は、適法かつ社会的に妥当な範囲で行います
 - ・接待・贈答を受ける場合も同様とします
15. 反社会的勢力等との断絶
 - ・反社会的勢力や団体とは断固として対決し、一切関係を持ちません
16. 地球環境に対する配慮
 - ・地球規模となっている資源、エネルギー、環境問題の解決および改善に貢献できるように行動します
17. 海外事業における姿勢
 - ・海外での事業活動においては、その国や地域の文化および慣習を尊重し、国際交流に努めます